

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																							
札幌ブライダルアンドホテル観光専門学校	平成20年11月12日	藤田 高峰	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目1-11 (電話) 011-232-3334																							
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																							
学校法人三幸学園	昭和60年3月8日	昼間 一彦	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-9641																							
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																						
衛生	衛生専門課程	ブライダルコーディネーター科	平成27年文部科学省 告示号外第36号	-																						
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、ブライダル業界の関連分野において、活躍する人材を育成する為、必要とされる知識と技能を教授することを目的とする。																									
認定年月日	平成28年2月19日																									
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																				
2	62	20	116	2																						
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
120人	130人	0人	5人	17人	22人																					
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価は5点法 評価方法は期末試験という形態ではなく、授業内評価																						
長期休み	■学年始:4月1日～4月16日 ■夏季:7月22日～8月27日 ■冬季:12月23日～1月9日 ■学年末:2月17日～3月31日		卒業・進級 条件	所定の修業年限以上在籍し、所定の単位時間数の単位を取得した者について進級・卒業認定 科目の認定基準は、学年評定2以上、3分の2出席																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学前相談会、スタートアッププログラム、学校生活ガイダンス、個人面談、未来デザインプログラム		課外活動	■課外活動の種類 企業インターンシップ、海外研修 ■サークル活動: 無																						
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) ホテル、結婚式場、ドレスショップ、フォトスタジオ、ヘアメイクサロン、ネイルサロン、エステサロン、ブライダルジュエリー等 ■就職指導内容 身だしなみ指導、履歴書添削、筆記試験対策、グループディスカッション指導、面接指導、ビジネス文書 ■卒業生数 52 人 ■就職希望者数 42 人 ■就職者数 42 人 ■就職率 : 100 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 81 % ■その他 ・進学者:6名 (平成 28 年度卒業生に関する 平成29年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブライダルコーディネーター検定</td> <td>③</td> <td>50人</td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td>認定ドレスコーディネーター</td> <td>③</td> <td>65人</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>ブライダルメイクアップ検定</td> <td>③</td> <td>52人</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>花嫁着付け</td> <td>③</td> <td>52人</td> <td>52人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するが記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ブライダルコーディネーター検定	③	50人	47人	認定ドレスコーディネーター	③	65人	62人	ブライダルメイクアップ検定	③	52人	49人	花嫁着付け	③	52人	52人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																							
ブライダルコーディネーター検定	③	50人	47人																							
認定ドレスコーディネーター	③	65人	62人																							
ブライダルメイクアップ検定	③	52人	49人																							
花嫁着付け	③	52人	52人																							
中途退学 の現状	■中途退学者 7 名 平成28年4月1日時点において、在学者123名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者116名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 妊娠・結婚、身体的疾患、進路変更、目標喪失 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・入学前に新入生、保護者に対して、学校生活や授業・就職についての説明会を実施。 ・保護者、高校時代の担任教員、心理カウンセラー等との連携を深めている。 ・担任や教職員が早期に面談を実施。		■中退率 5.7 %																							
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																									
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																									
当該学科の ホームページ URL	http://www.sanko.ac.jp/sapporo-bridal/																									

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱わず)。
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行ない、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。
 委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や 授業方法の改善・工夫に生かす。
 (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
 (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
 (3)教科書・教材の選定に関する事項
 (4)その他、教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、生徒の就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を高め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。
 実習先である企業に対し、アンケート等を実施することにより、学生に不足する、あるいは必要とされる能力を把握する。これらのことよって得た結果も、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会（以下「委員会」という。）は、専修学校専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規定（平成25年8月30日文科科学省告示第133号）に基づき、学校法人三幸学園（以下「学園」という。）の学校・学科ごとに当該課程の教育を施すにふさわしい授業科目の開設及び授業方法の改善・工夫を行うための組織として委員会を設置し、必要事項等については別に定める教育課程編成委員会規則に規定する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
林 一馬	全米プライダルコンサルタント協会	平成29年1月1日～平成30年12月31日	①
木村 尚志	JR北海道ホテルズ株式会社	平成29年1月1日～平成30年12月31日	③
林 秀美	有限会社メイクアップアトリエ	平成29年1月1日～平成30年12月31日	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
 ②学会や学術機関等の有識者
 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

毎年、年に2回実施するものとする。ただし、委員が緊急に教育課程の改善が必要であると判断した場合には、随時、委員会開催を申し入れることが出来るという弾力的な体制を取っている。開催時期は2月～3月、及び10月～11月の期間に実施する。
 (開催日時)
 第1回 平成29年2月27日 10:00～11:00
 第2回 平成29年11月（日時未定）

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

カリキュラム変更:企業インターンシップを追加(1年次後期から2年次前期の1年間について実施する変更を反映)

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校の教育方針及び実習内容へ理解頂き、共に教育して下さる企業を選定している。また、実習の実施にあたり、技術指導に伴う有資格者が指導者として担当する体制をとること及び定期的な打ち合わせに協力可能な企業を選定している。
 また、企業連携にあたっては短期的な契約ではなく、数年間継続する中で授業改善・提案ができることを条件としている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

実習前に、本校教員と授業担当者で授業の方向性及び企業側が教えたい(伝えたい)ことを打ち合わせの上、年度方針を決める。
 また、その方針をもとに企業が年間の授業計画を作成の上、本校教員が確認し、授業内容を決定する。授業終了後は定期的に授業の振り返りや改善点を打ち合わせ、次回の授業に活かしていく。企業は評価指標に沿って評価試験の作成及び採点・評価を実施し、生徒の学習状況について直接確認するとともに、授業担当者との情報交換を行う。
 授業終了時には、授業担当者による生徒の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
着付け	日本における美容文化である着付けの技術を学ぶことで卒業後の仕事の幅が広がり、活躍の場も増える。授業では技術はもとより礼節や所作などを現場の方から毎週継続して学ぶことで、接客スキルを向上させる。日本の美容文化への意識及び技術習得の必要性を認識し、向上心を養う。	小林豊子きもの学院株式会社 (着付免許:京都市のコンサルタント協会)

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、ブライダル業界・教育業界を担う「素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献できる人材」・「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎新婦だけでなく、その家族、その人生も幸せにできるNO1のコディネーター」を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、以下のとおり教員研修の環境を整える。

- ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
- ・指導力の修得・向上のための研修
- ・アクティブラーニングの手法を取り入れた教育方法の研修

なお、当該研修等を計画的に教員に受講させるにあたり諸規定に定められている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

- I 平成28年6月8日(水)15:45～16:45 ホテルモントレーデルホフ札幌/菊地 祐里様「ホテル現場で求められること」
- II 平成28年6月8日(水)16:45～17:45 マスタプランニング株式会社/野口 綾加様「ゲストハウスの現場で求められること」
- III 平成28年8月22日(月)9:15～10:15 リッツカールトンホテル様「ホテル現場における専門学校生と大学生の違いについて」
- IV 平成28年8月22日(月)10:25～11:25 アルカンシエル様「ゲストハウス現場における専門学校生と大学生の違いについて」
- V 平成28年10月18日(火)13:00～13:45 グローヴエンターテイメント株式会社/佐藤 彰悟様「ブライダル企業で求められる人材」
- VI 平成28年10月18日(火)13:45～14:30 Coco style WEDDING/原田 温子様「フリープランナーとしてのやりがいや魅力」
- VII 平成29年2月14日(火)14:00～16:00 全米ブライダルコンサルタント協会アジア統括代表/小原 義之様「ブライダル業界の動向、欧米のトレンドなど」

② 指導力の修得・向上のための研修等

- I 平成28年5月9日(月)9:10～18:00 株式会社ベネッセアイキャリア/横部 延寿様「就職指導におけるポイントについて」
- II 平成28年8月22日(月)15:00～16:30 株式会社CRAZY代表/山川 咲様「困難にどのようにチャレンジしてきたか」
- III 平成28年8月30日(火)14:30～16:00 北洋銀行取締役会長/横内 龍三様「人口減少と地方創生について」
- IV 平成28年10月3日(月)13:00～14:30 株式会社グローバルキャリア/的場 亮様「目標達成の為のあきらめない姿勢をどのように伝えるか」
- V 平成28年10月17日(月)9:30～16:00 株式会社ベネッセアイキャリア/上原 隆様「就職活動のモチベーションアップについて」
- VI 平成29年3月31日(金)15:50～17:20 株式会社アビリティトレーニング代表取締役/木下 晴弘様「感動は人を動かす」

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

- I 平成29年6月6日(火)18:00～18:30 ホテルモントレーデルホフ札幌/菊地 祐里様「ホテル現場で求められること」
- II 平成29年6月6日(火)18:30～19:00 マスタプランニング株式会社/岸塚 端穂様「ゲストハウスの現場で求められること」
- III 平成29年10月11日(水)9:30～10:15 グローヴエンターテイメント株式会社/佐藤 彰悟様「ブライダル企業で求められる人材」

② 指導力の修得・向上のための研修等

- I 平成29年5月17日(水)9:10～18:00 株式会社ベネッセアイキャリア/横部 延寿様「就職指導におけるポイントについて」
- II 平成29年8月23日(水)9:10～10:30 ブライダル総研/鈴木 直樹様「ブライダルの今後と求められる人材」
- III 平成29年10月2日(月)13:00～14:30 株式会社グローバルキャリア/的場 亮様「目標達成の為のあきらめない姿勢をどのように伝えるか」
- IV 平成29年10月10日(火)9:30～16:00 株式会社ベネッセアイキャリア/上原 隆様「就職活動のモチベーションアップについて」

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、ブライダル業界の企業様や卒業生・地域団体住民・高校関係者等と共に、学校関係者評価委員会を設置して、当該専門分野における実務に関する知見を活かして、教育目標や教育環境等について評価し、その結果を次年度の教育活動及び学校運営の改善の参考とする。

学校関係者評価は、「私立専門学校等評価研究機構 専門学校等評価基準」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。また、評価結果は学校のホームページで公表する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	(11) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

新卒採用の基準として共通した以下の3点①自分で考えて行動することができる②行動を起こすことができる③結果にこだわって最後までやりきれぬを就職対策の授業内で発信し、行事でのリーダーシップ、オープンキャンパススタッフとしての高校生の対応に反映。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
中村 宗人	マスタプランニング株式会社	平成29年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
古川 英歳	ホテルモントレー株式会社	平成29年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
高橋 鮎奈	マスタプランニング株式会社	平成29年4月1日～平成30年3月31日	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()、平成29年7月公開
URL:<http://www.sanko.ac.jp/disclosure/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン」に則って情報提供を実施することで、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
また、入学希望者やその保護者に対し、進路選択にあたっての有用な情報を提供すると共に、一人一人の能力・適性にあつた望ましい進路の実現に資すること。

そして、キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習、就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげることを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	●三幸学園について(事業案内、経営理念、歴史)
(2) 各学科等の教育	●三幸学園の教育
(3) 教職員	●講師紹介
(4) キャリア教育・実践的職業教育	●学内実習 ●インターンシップ
(5) 様々な教育活動・教育環境	●施設紹介 ●企業・地域コラボレーション
(6) 学生の生活支援	●サポートシステム ●学生寮・一人暮らし
(7) 学生納付金・修学支援	●募集学科・学費 ●学費サポート制度
(8) 学校の財務	●監事監査報告書 ●資金収支計算書 ●消費支出計算書
(9) 学校評価	●自己点検自己評価・学校関係者評価委員報告書
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<http://www.sanko.ac.jp/sapporo-bridal/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程ブライダルコーディネーター科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ブライダル知識Ⅰ	婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「アシスタントブライダルコーディネーター検定」取得を目指します。	1年	33	2	○			○		○		
○			パーソナルカラー	ファッションコーディネートで即戦力となるように、色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付ける。	1年	33	2	○			○		○		
○			ブライダルビジネスマナー	敬語の使い方、履歴書の書き方やビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ。	1年	33	2	○			○			○	
○			ベーシックメイク	ベーシックメイク検定対策、基本的なメイクの手順、骨格や肌の構造等を学びフルメイクの基礎メイクテクニックを学ぶ。	1年	99	6	△	○		○		○		
○			ブライダルプロジェクトⅠ	日頃の授業のアウトプットとして現場体験ができる行事を取り入れ、企画立案施行の全てが出来るようにする。	1年	66	4	△	○		○	○	○		
○			ブライダルヘアアレンジⅠ	一束やピンニング、ホットカラーや編み込み等ヘアアレンジの基礎からベーシックなアップスタイルを学ぶ。	1年前期	48	3	△	○		○		○	○	
○			ブライダルネイルⅠ	JNECネイリスト技能検定3・2級級取得を目指し、基礎的なネイルケア～カラーリング・アートや簡単な付け爪(チップラップ)まで学ぶ。	1年	99	6	△	○		○		○		
○			未来デザインプログラムⅠ	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1年	33	2	○			○		○		
○			フラワーアレンジ	ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を学ぶ。	1年前期	48	3	△	○		○			○	
合計			科目		単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程ブライダルコーディネーター科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ドレス デザイン	『認定ドレスコーディネーター』検定の取得を目標にドレススタイリストに必要な技術・知識を学ぶ	1年	66	4	○	△		○		○		
○			ホームルーム	検定や行事等のスケジュール確認や伝達事項の確認を行う。	1年	33	2	○			○		○		
○			花嫁着付けⅠ	一般的な着付とは違い、特殊な婚礼和装の着付を学び、婚礼和装の帯など名称も学ぶ	1年	99	6	△	○		○			○	○
○			アテンダー 実践	結婚式当日、新婦様の一歩先くでお世話を アテンドの知識を学ぶ授業。ドレスのト レーンの持ち方・ブーケの持ち方など新婦 様を堂に美しく見せる見せ方を学ぶ	1 年前 期	32	2	△	○		○		○		
	○		ブライダル ヘアアレンジ Ⅱ	和装や洋装、年代に合わせたヘアメイクを デザインし相モデルで行うなど幅広いア レンジを学ぶ。	1 年後 期	68	4	△	○		○		○		
	○		ブライダル メイクⅠ	アドヴァンス検定、スキンケア、トラブル メイク、チェンジ(タイムアップ含む)	1 年後 期	68	4	△	○		○		○		
	○		ドレス フィッティング	ドレスの着せ方・ドレスショップでの新規 接客の方法を学び、即戦力を身につける	1 年後 期	34	2	△	○		○			○	
	○		ドレス ソーイング& メンテナンス Ⅰ	ドレスのお直し・タキシードの裾上げなど ドレススタイリストの裏側の仕事を学ぶ	1 年後 期	34	2	△	○		○		○		
	○		ブライダル ヘアメイクⅠ	基本的な道具の使い方を学び、ヘアアレン ジの基礎～花嫁洋装スタイルのクラシカル スタイルを学ぶ。	1 年後 期	51	3	△	○		○		○	○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程ブライダルコーディネーター科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			マーケティング	ブライダル業界の動向とお客様のニーズを研究・発表する。	1 年前期	16	1	○			○		○		
○			ブライダル実務Ⅰ	現場までの実習勤務を通して、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢・実践力・応用力を学ぶ。	1 年後期	68	4	△		○		○	○		
○			ブライダル知識Ⅱ	新規接客・アンケート記入・質問・顧客心理・館内案内・敬語等、設定した客層への対応方法を学びます。	2 年	50	3	○			○		○		
○			ブライダルプロジェクトⅡ	日頃の授業のアウトプットとして現場体験ができる行事を取り入れ、企画立案施行の全てが出来るようにする。	2 年	66	4	△	○		○		○		
○			ブライダルネイルⅡ	1年次に学んだネイルアートⅠの技術向上とジェル検定初級取得を目指す。またブライダルネイルで使えるアートなどの技術を学び作品制作を行う	2 年	99	6	△	○		○		○		
○			未来デザインプログラムⅡ	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	2 年前期	16	1	○			○		○		
○			就職対策Ⅱ	就職の心構えや目的から伝え、企業のエントリー方法や実践的な面接指導、そして内定後までの流れを指導。	2 年前期	16	1	○			○		○		
○			花嫁着付けⅡ	一般的な着付とは違い、特殊な婚礼和装の着付を学び、婚礼和装の帯など名称も学ぶ花嫁着付けⅠより、高度な技術を学ぶ	2 年	99	6	△	○		○			○	○
○			ブライダルエステ	ブライダルエステの基礎知識・技術を習得する ・フェイシャル、ボディ技術理論 ・フェイシャルケア・ボディケア	2 年	82	5	△	○		○		○		
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程ブライダルコーディネーター科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○		ブライダルメイク&フォト	アドバンス検定対策と撮影用メイクを学び、カメラのファインダーを通した、メイクの仕上がりを学びます。	2年	99	6	△	○		○	○			
	○		洋装・和装メイク	洋装・和装の花嫁メイクの基礎から応用、列席者のメイクやボディージュエリーなどの流行まで取り入れた結婚式の幅広いメイクを学びます。	2年	99	6	△	○		○			○	
	○		ドレススタイリング	ドレスのデザインや装飾などを理解し、的確なフィッティングやドレスに合ったヘアメイクなどのスタイリングを考える授業	2年	66	4	△	○		○		○		
	○		ドレスコーディネート	ドレススタイリストに必要な知識を活用して、着る人の体型やTPOに合わせたコーディネートを考える授業	2年	66	4	△	○		○			○	
	○		ドレスソーイング&メンテナンスⅡ	ドレスのお直し・タキシードの裾上げなどドレススタイリストの裏側の仕事を学ぶ	2年	66	4	△	○		○		○		
	○		ブライダルヘアメイクⅡ	和装や洋装、年代に合わせたヘアメイクなど、幅広いアレンジを学びます。	2年	99	6	△	○		○		○	○	
	○		ブライダルメイクⅡ	検定対策、お色直し、メンズトータルコーディネート、列席者ヘアメイクなど、式に関わるトータルヘアメイクを学びます。	2年	99	6	△	○		○		○		
○			ビジネスメール演習	社会人として必要なメール文書に関するマナーを学び、シーンに応じた正しい言葉遣いを身につけます。	2年	66	4	△	○		○			○	
○			施設実習	現場での実習勤務を通して、1日及び1週間の流れを学び、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢を学んでいく		80	2				○	○		○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程ブライダルコーディネーター科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ブライダルヘアアレンジⅢ	ブライダルのクイックチェンジやお色直しの際に行う様々なヘアチェンジに対応出来る様に相モデルでより実践的に学ぶ。	2年	99	6	△	○		○		○	○	
○			ブライダル実務Ⅱ	現場での実習勤務を通して、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢・実践力・応用力を学ぶ	2年	98	6	△		○		○	○		
		○	文化・教養の学習A	社会に出るにあたり、自らに必要な技術知識の習得や文化学習を行う(美容・健康・保育・福祉など)	1年前期	20	1	△	○		○		○		
		○	文化・教養の学習B	社会に出るにあたり、自らに必要な技術知識の習得や文化学習を行う(美容・健康・保育・福祉など)	1年後期	20	1	△	○		○		○		
合計						38科目	2334単位時間(138単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>【履修方法】</p> <p>●講義及び演習科目については15時間から30時間の授業をもって1単位とする。実習及び実技科目については30時間から45時間の授業をもって1単位とする。各科目授業内テスト(実技科目の評価方法は実技・筆記テストを原則実施)の100点満点での素点からの5点法による評定とし、「2」以上でその科目の履修と見なす。</p> <p>【進級・卒業要件】</p> <p>●授業科目の履修を終了した者には、認定のうえ単位を与える。単位の認定については、各科目における試験及び演習・実習の評価によるものとする。単位制学科の卒業認定に必要な単位数は62単位とする。</p>	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	前期16週 後期17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。